

フォゼベル錠®を服用する際の注意点

フォゼベル®錠を服用する前に

次の方は、この薬を使用することはできません。

- 2歳未満の方（小児に対する適応は認められていません）
- 過去にフォゼベル®錠に含まれる成分で過敏症のあった方
- 機械的消化管閉そく※またはその疑いのある方
※物理的な消化管の閉そく

次の方は、特に注意が必要です。

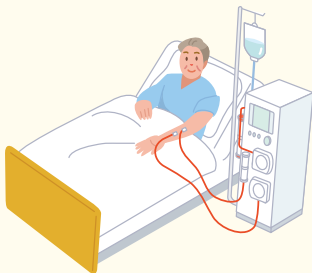
使い始める前に医師または薬剤師に必ずお伝えください。

- 炎症を伴う腸の病気（炎症性腸疾患）を持つ方
- 下痢を伴う過敏性腸症候群と診断されている方
- 妊婦または妊娠している可能性のある方
- 授乳中の方



この薬には併用を注意すべき薬があります。

他の薬を使用している場合や、新たに使用する場合は、必ず医師または薬剤師に相談してください。



フォゼベル®錠を服用する時に

フォゼベル®錠の服用をはじめても、食事療法等によるリン摂取についての注意は医師の指示通りに続けてください。透析療法中に排便を催すことが心配な場合は、透析直前の服用は控え、朝夕以外の食直前に服用してもかまいません。

病院名・薬局名

PZV0021
2024年7月作成
KKC-2024-00322-1
®登録商標

KYOWA KIRIN

フォゼベル®錠を服用されている方へ



秋澤 忠男 先生

昭和大学医学部内科学講座 腎臓内科学部門 客員教授

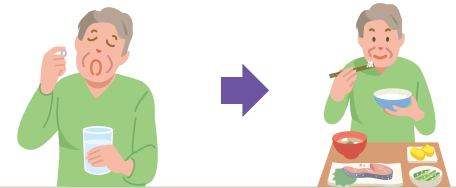
フォゼベル®錠の服用方法

フォゼベル®錠は1日2回朝食及び夕食直前、1回1錠から。

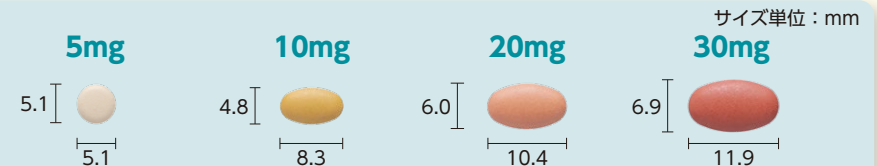


1日2回

朝食及び
夕食直前に
1回1錠



フォゼベル®錠は4つの種類があります（実物大）。



種類によって色と形、大きさが異なります。

5mg錠からはじめます。

服用する錠剤の種類や数は、血液中のリン濃度や患者さんの状態などを考慮して主治医によって決められます。決められた量を正しく服用してください。

協和キリン株式会社

こんな時はどうする？

飲み忘れたとき

飲み忘れた場合は、気がついた時に早めに飲んでください。朝食の直前に飲み忘れた場合は、昼食の直前に飲んでもかまいません。ただし、次の飲むタイミングが極端に近い場合は、飲み忘れた1回分をとばして、次のタイミングに1回分を飲んでください。

❗ 一度に2回分服用しないでください。

多く使用したとき

下痢などの消化器症状があらわれる可能性があります。また、重度の下痢や長く続く下痢の場合、脱水になる可能性があります。こうした症状が同時期にあらわれた場合は、ただちに医師に連絡してください。

フォゼベル[®]錠の副作用は？

フォゼベル[®]錠の服用中は、便がやわらかく（下痢と）なったり、排便の回数が増えたりすることがあります。

❗ 特にご注意ください副作用に、「重度の下痢」があります。何度も水のような便が出る、下腹部が痛む、体がだるいといった症状が同じような時期にあらわれた場合は、ただちに医師または薬剤師に相談してください。

ほかにも、下痢に伴う口の渇きや手足のしびれ、強い倦怠感、血圧低下等の症状があらわれた場合には、すみやかに医師または薬剤師にお伝えください。

便の状態を把握するためには以下のスケールを参考にしてください。

ブリストル便性状スケール (BSFS) ¹⁾

タイプ 1		硬くてコロコロの兔糞状の便
タイプ 2		ソーセージ状であるが、ゴツゴツした感じの便
タイプ 3		表面にひび割れのあるソーセージ状の便
タイプ 4		表面がなめらかで柔らかいソーセージ状、あるいは蛇のようなトグロを巻く便
タイプ 5		はっきりとしたしわや切れ目がある、柔らかい半分固形の便
タイプ 6		境界がほぐれて、ふにゃふにゃの不定形の小片便、泥状の便
タイプ 7		水様で、固形物を含まない

1) O'Donnell LJ, et al.: BMJ 300: 439-440, 1990 をもとに作成